



## — SASA2025（5年生） —



3日（水）と4日（木）の2日間で、5年生がSASA2025に挑戦しました。

SASA2025は、福井県が毎年5年生を対象に行っている学力検査です。この検査は、5年生の秋ぐらいまでの学習内容が出題されるテストです。5年生にとっては、これまで受けていた単元テストみたいな決められた範囲の出題ではなく範囲のないテストを受けるのは初めてで、戸惑いも多かったと思います。また、問題も長文で、たくさん読んで必要なことを取捨選択して答えなくてはならなくて、時間もかかりました。大変だったと思います。結果は、3学期に返却されます。返却されたらそのままにせず、得意はもっと伸ばして不得意は克服できるように自分で考えて学習に望むことができるようにしていきましょう。（この力は、次の学習指導要領の主になる力です。今のうちから身につけていけるようにしましょう。）

次は、6年生になった4月に全国学調があります。ぜひそれに備えて、少しずつ積み上げていけると良いですね。頑張れ！5年生！

## — 福井の伝統産業は素晴らしい！（4年生） —



4日（木）に4年生が校外学習に出かけました。今回の行き先は、越前陶芸村と和紙の里です。

越前陶芸村では、越前焼の体験を行いました。「手ひねり」で好きなものを作りました。子どもたちは、あらかじめこんなものを作ろうという構想を持って作業を始めました。でも、なかなか思うような形にはなりません。悪戦苦闘しながら、時間いっぱいかかって仕上げることができました。焼き上がるまでには、1ヶ月ほどかかるということで、お家に持って帰るのは3学期になりそうです。釉薬を塗って仕上げると素敵なものができあがりますので、ぜひ楽しみに待っていてください。

そして、和紙の里にも行きました。和紙の里では、和紙の作り方や歴史を勉強しました。伝統工芸に指定されている和紙作りは、職人の方たちの手で今日までその技術がしっかりと受け継がれてきていることに感動しました。そして、実際に色紙を作りました。色々な色を混ぜたり落ち葉を入れたりしてオリジナルな色紙を作りました。とてもきれいな色紙になりました。福井には、古くから受け継がれてきた伝統産業がたくさんあるんだと、改めて福井のすごさを感じました。

